3 創感染に対するマヌカハニーの効果

次に、手術後の創感染に対するマヌカハニーの経験を述べたいと思います。NHKの「あさイチ」という番組で当院のハチミツ治療が取り上げられたことで、マヌカハニーを販売している業者の方からハチミツの提供を受けました。

マヌカハニー治療症例は59歳から87歳の21例です。男性10例、女性11例でした。細菌培養で感染が証明され、創を開放した後3日で軽快しない場合に、患者さんにハチミツ治療のことを説明し同意を得た上でマヌカハニーを感染巣に塗布しました。皮膚下の感染が14例、筋膜までの感染が7例です。治癒までの期間は皮膚下の感染では平均11.1日、最長18日でした。筋膜までの感染では4例が30日以内に治癒（8～26日）、1例は治癒まで40日でした。いずれの症例もハチミツ塗布後3～7日程度で膿汁の排泄はほとんど認められなくなり、90%の症例で1週間後には細菌検査で陰性となりました。創感染による再手術例は無く、ハチミツを塗布したことによる有害事象も認められませんでした。

創の洗浄を行い、マヌカハニーを塗布すると膿の減少、筋膜壊死（えし）の融解がみられ汚い傷の切除が不要になり安全に処置を行うことができます。通常、筋膜までの創感染は洗浄と、必要に応じて抗菌薬投与や切除、再縫合などが行われますが、入院期間が延びたり、入浴が制限されたりと患者さんのQOL（生活の質）を著しく損ねます。ハチミツを塗布する以前の症例と比較してハチミツを塗布した症例では感染が消失するまでの日数が短縮しています。

4 ハチミツの効果に関するまとめ

ハチミツの作用と効果についてまとめますと、①高浸透圧と低pH（3～4）、過酸化水素の発生による抗菌作用（マヌカハニーではメチルグリオキサールによる抗菌活性）、②低pHによる毛細血管拡張による酸素、栄養の供給促進により肉芽形成を促す効果、③高い粘稠度により湿潤環境を保持する効果、④抗炎症作用によりむくみを減少させる効果などです。

参考文献 ＊1：武田和憲. StageⅣの褥瘡に対するハチミツ治療の有用性. 褥瘡学会誌1999:1:254-259.

ハチミツレシピ

ハチミツの効果

管理栄養士
尾崎 由紀子

今回ハチミツの抗菌作用を利用したキズの治療というお話でしたが、
ハチミツにはこのほかにも多くの利点があります。
ハチミツの主成分はブドウ糖と果糖です。一般的な砂糖と比べ、
消化吸収が早く、疲労回復や栄養補給に適しています。
また、ビタミンB1、B2、B6、葉酸など多くのビタミンを含有し、しかも90%以上が活性型ビタミンです。
サプリメントは通常不活性型なので、ハチミツを食べた方が体にとって効果的だと言えます。
また現代人に不足がちなカルシウム、鉄、銅などミネラルも多く含まれております。
腸内細菌にもよい効果があり、便秘の解消にも役立つようです。

ブリのハチミツ照り焼き（2人分）

Yellowtail

ブリ（切り身）… 2切れ
魚はサワラでも。
豚肉のショウガ焼きなど、
肉類でもこのたれは使えます!

【たれ】
しょうゆ…… 大さじ2
酒…… 大さじ2
ハチミツ…… 大さじ2
塩 …… 少々
サラダ油… 少々

1 塩少々を両面にふり、10分おく。キッチンペーパーで余分な水分を拭き取る。（生臭さや余分な水分をぬくため。）
2 たれの調味料を合わせる。
3 フライパンに油を少々熱し、ブリを皮目から中火で焼いていく。余分な油が出たらキッチンペーパーで吸い取る。
4 両面こんがり焼けたら、たれを回し入れ、絡むように弱火で煮詰める。
5 汁けが少なくなりとろみがついたら、盛りつける。

お好みで、甘酢しょうがやシシトウを添えて。

にんじんサラダ（2人分）

Carrot

酢はりんご酢やレモン汁、
ワインビネガーなどお好みで。

にんじん……1本
レーズン…… 大さじ1
酢…… 大さじ1
ハチミツ…… 大さじ1/2
塩…… 少々
こしょう…… 少々

1 にんじんはスライサーなどで千切りにしボウルに入れる。
2 レーズンを加える。（固い場合はお湯に5分ほどつけて柔らかくしておく。）
3 酢とハチミツをよく混ぜ合わせてあえる。塩こしょうで味を整える。

お好みでスライスアーモンドやクルミをちらしても。

簡単！ハチミツトマトデザート（2人分）

tomato

プチトマト… 10個
ハチミツ…… 適量
レモン汁…… 適量

1 トマトを湯むきする。
2 ハチミツとレモンであえて冷蔵庫でよく冷やす。